

## 加賀カントリークラブ環境行動計画

平成 20 年 2 月 9 日

### 取組方針

加賀カントリークラブは「英知の結集により革新ある未来を築く」ことをモットーに、環境に優しいゴルフ場作りを目指します。

旧態依然とした運営、管理方法を見直すことから環境保全に寄与できると考えます。例えば CO2 の排出量を減らし、農薬、薬剤等の使用もあらゆる面を模索し減少させることを考え、少しでも環境汚染を食い止めるように努力し、環境問題に取り組み、地域との融和を図りゴルフ場にも優しい施設作りを行う。

- ① 事業活動の中で省エネルギーと省資源化
  - ・ クラブハウス諸設備の改善により具体化する
  - ・ 事務に係わる課題(事務用品の節約・コピー用紙含む再利用)
- ② 薬剤・肥料の減少化
- ③ ムダ・ムリ・ムラの排除

この方針に基づいて社員一人ひとりが環境保全の大切さを理解し、社会的責任を全うすることの重要性を認識させ、各部署に取組目標及び取組内容を徹底させます。

平成 20 年 2 月 9 日

株式会社 加賀  
加賀カントリークラブ  
代表取締役 大蔵 好末

### 3、環境負荷の低減目標

平成21年に向けての環境負荷の低減の目標は、次の通りです。（数値的な低減目標についての基準年は、いずれも平成19年です）

〔目標1〕 二酸化炭素の排出量を13%削減する

基準年の総排出量 947,714 (kgCO <sub>2</sub> )	⇒	目標年の総排出量 824,511 (kgCO <sub>2</sub> )
--	---	--

〔目標2〕 産業廃棄物の排出量を16%削減する

基準年の排出量 120 (本)	⇒	目標年の総排出量 100 (本)
--------------------	---	---------------------

〔目標3〕 芝草管理の薬剤を14%削減する

基準年の使用料 1,859 (kg)	⇒	目標年の総使用量 1,598 (kg)
-----------------------	---	------------------------

〔目標4〕 コピー用紙の使用量を5%削減する

基準年の使用料 503 (kg)	⇒	目標年の総使用料 478 (kg)
---------------------	---	----------------------

### 4、環境保全に向けた具体的な取組

#### 〔取組1〕 二酸化炭素排出量の削減

（営業部門での取組）

・具体的には冷暖房システムの変更（スーパーインバーター：新冷媒）：平成20年2月末工事完了  
営業上クラブハウスに1階ロビー、フロント、ロッカー室（男女）、浴場（男女）、2階レストランホールと施設があり、現在セントラルで冷暖房システムを賄っており、設備の老朽化等もあり必要以上の電気、重油等が必要となっています。システムを変更することで二酸化炭素の排出量も上記表の通り大きく削減できると考えます。初期投資は必要ですが。

上記システム変更後のメリット

- ・個別制御性に優れる。（必要以外作動はカットできる）
  - ・時間帯も含め合理的な使用が可能
  - ・一定の温度設定で快適に営業が可能（夏場 26度、冬場 22度）
  - ・空冷式により冷却水の管理が不要
- （事務室での取組）
- ・事務室の空調温度の適正化（冷房時 28度、暖房時 20度）
  - ・事務機器、パソコン等節電機能の活用

#### 〔取組2〕 廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ・枯れ松（松喰虫、酸性雨等）の減少。（薬品、バイオシステムによる防御）
- ・管理機械の始業前整備、点検の励行により寿命も延ばす工夫を徹底する
- ・消耗品も（軍手、作業服）再生できるものは徹底して再生する（洗濯、つくろい等）

#### 〔取組3〕 芝草管理薬剤使用量の削減

- ・農薬の使用を減少させる取組（新聞記事等での情報もあり積極的に模索する。）
- ※対象ゴルフ場に向きヒアリング等で実態を精査し、実行へと結びつける。
- ・春、秋の2回散布をティ前、グリーン奥とかを散布しない作業工夫（必要ヶ所のための散布）
- ※現在も行ってはいますが、作業性もありムダな部分もありますので徹底して行います。
- ・業者からの情報収集（種類を替えた薬剤の散布で削減の方向）

**[取組4] コピー用紙使用量の削減**

- ・社内文書は両面印刷、使用済み用紙の裏面使用の徹底
- ・資料、書類の電子テーター化を進める
- ・他業者からの不必要メール、FAX等の拒否（機械的に可能の場合徹底する）
- ・会員テーターの無駄なコピー（会員からの問い合わせ時プリントして担当者に配布を原則なくし画面での処理の徹底

**[取組5] その他の取組**

- ・プレー用乗用カートの電動化

現在ガソリンカートを使用し、来場者の増減で使用頻度も上下する。営業に関しては売上を確保するためには来場客獲得が前提となります。よって近い将来は年間5台～10台ずつの変更を考え、少しでも環境に優しいゴルフ場を目指します。

・経営改善委員会、経営改革委員会（従業員主導）の設立による社員意識の高揚に努めます。現在両委員会を設置しておりますが、うまく機能していない部分もあり今後は積極的に環境保全問題にも取組、小さなことの提案からも取組の大切さを理解する機会を設け全員で努力します

**5、環境行動計画の実施体制**

環境保全担当者 岡田を委員長とした組織を構築し、週間、月間、半期と取組目標を設定し、その進捗状況及び実施状況をチェックします。